



平成27年 8月15日

8面	7面	6面	5面	2面
視点・あらいのぺん草	フェスタの祇園祭	こどもの詩・俳句・雑詠	情報・すぽんと町民ゴルフ大会	男と女のいきいき講座
			スポートフェスティバル	公民館の歴史



## 「摘果」(上片桐)

摘果されたリンゴも大切に出荷され、加工品の原料となります。



# 多くの町民に利用された公民館 ～多種・多様な利用状況～

公民館には使用目的に応じて幾つかの部屋があります。年間、どの部屋が使用されていたか平成24年度の実績（開館日307日）を見ましょう。

年間利用団体 1467団体  
1日平均利用団体数 4・79団体  
1日平均利用室数 5・13室

\*平成24年度実績

	部 屋	設 え	年間延べ利用数	1日平均利用数
一階	応接室	床	69	0.22回
	印刷会議室	床	207	0.67回
	コンピュータ室	床	39	0.17回
	部室	床	48	0.15回
二階	大会議室	畳	263	0.86回
	学習室 1	床	213	0.69回
	学習室 2	床	262	0.85回
	中会議室	畳	193	0.63回
	小会議室 1	畳	84	0.27回
	小会議室 2	畳	48	0.16回
	料理教室	床	141	0.46回

公民館を、1日およそ5つの団体が使用しています。1つの団体が2つ以上の部屋を利用されることがあるので、平均利用室数は5室を超えています。

部屋ごとの使用回数では、大会議室、学習室2が並んでトップを占めています。次い

で、学習室1が続きます。1階の印刷会議室が200回を超えて多いのは、会合や催し物等の印刷に利用されているからです。

畳の部屋の中会議室は190回を超え多いわけですが、学習室が一杯でやむをえず使用されたかと思えます。畳の部屋

の小会議室が極端に低いことから座つての会議は敬遠されているようです。

公民館の使用できる部屋数は11室であるので、毎日、半分近い部屋が利用されていたわけですが、稼働率から見ますとやや低いのかなと思えます。なお、新公民館は、多目的ホール、学習室が6室、調理室、印刷会議室の計9室と少なくなっています。

## 教養・趣味・運動に多く利用される

公民館は、どのような目的で利用されているのかを6月、10月、2月の利用状況から調べてみました。どの月も同じような傾向であるので、およその利用状況を把握できます。

現在、公民館は人々が趣味や教養を学ぶ場所へと性格を変えています。松川町も同じ傾向があり俳句、書道、短歌、川柳、英会話等様々なクラブ、同好会に利用されています。その他の特色として、中央公民館が健康・軽スポーツにかかわることに非常に多く利用されていることです。内訳をみますと、子どもを対象にしたダンスとお年寄り

を対象にした健康保持につながる軽スポーツに利用されています。最近では、ヨガが多くなっています。

## 地域づくりにつながる主体的な会合も多い

注目したいことは、文化協会、体育協会、はこべの会、また各種スポーツ大会実行委員会など自主組織された団体、委員会が、地域文化の向上・運動の推進・地域コミュニティーの形成等の地域づくりのために主体的な会合を多く持っていることです。特に、運動面で活発に行われています。

今日「住民自身が学びを通して地域づくりの担い手になる」「公民館を再び自治体振興の機能として見直そうとする流れ」があります。そんな動きから考えますとこのような主体的な会合が公民館で開かれていることは、大変素晴らしいことです。しかし、地域課題・社会問題を考え合うこと・これからの時代を担う若者にかかわる活動での利用が少ないことが課題になります。最後に、ご利用いただいた方からの公民館に寄せる思いを出をいただきました。

# 公民館の歴史④

## <公民館はどのような目的で利用されているか>

使用目的	H26			H27	使用された具体的な内容
	6月	10月	2月	6月	
趣味や教養にかかわること	21	22	22	18	英会話・俳句・琴・写真・書道・囲碁・短歌 川柳・囲碁・フラメンコ・自分の本をつくる会・パン教室
健康・運動にかかわること	36	36	58	52	ヨガ・ダンス・体操・健康教室・バドミントン・太極拳・マレットゴルフ
子ども（小学生・中学生）の育成	16	5	8	7	ノントンの会・子どもの講座（茶道・押し花・生け花）小学校学年保護者会・どてら松川中・中学生チャレンジショップ
若者（高校生・青年）の育成	6	0	0	6	高校PTA
地域づくりにかかわること	22	25	18	24	文化協会・はこべの会・婦人会・女団連・地区協・本館専門部・駅伝大会・ハーフマラソン実行委・まつかわ大学運営委・オープンソフト運営委・町民ゴルフ大会実行委・夜間ソフトリーグ運営委
地域課題・社会問題等を考え合う	7	1	4	6	9条の会・心ある母の会・記録写真の会・消費者の会・公民館を閉じる会
行政の仕事にかかわること	5	7	9	6	総合健診・人権相談・町消防団・男女協同参画地区推進委

## 公民館の思い出

### 素晴らしき 出会いの場

森下 延子

私にとって中央公民館は学習の場であると同時に尊敬する指導者や先輩、素晴らしい友人との出会いの場でした。

30年程前畳の小会議室で「自然観察会・春蘭の会」を立ち上げました。「およりの森」の植生調査、サギソウ、ジュンサイの再生作業など苦労はありましたが会員との充実した日々が想い返されます。

平成5年には「短歌教室花あかり」が発足し現在に至っています。高齢化には抗えず会員の減少がありますものの、学習室で月1回和気藹々の歌会を行っております。

「まつかわ写真教室から「クラブ光彩」へと移行しましたが、これ又楽しく月1回公民館学習室で各自持ち寄った作品を批評しあい情報交換など行います。そして月に1回

は皆で撮影に出掛けます。老若男女、経験の長短を問わないこのクラブは、今の私の老化防止、生き甲斐となっております。

この様に中央公民館には大変お世話になりました。新築になった公民館で又1日も長くお世話になれる様、元気でいたいと思っております。



### はこべの会と公民館

北島 正隆

私達の年代にとって中央公民館の建物は、福祉センターという呼び方が一般的であった。私が就農した頃完成した真新しい施設は町内における社会教育、文化活動の中心として大きな役割を果たしてきた。開館当時は数多くの団体が押し寄せ予約をとるのに苦

労する程の盛況ぶりだった。町の公民館編集部に所属し館報まつかわの発行に携わるうち、自分達がこの地域で暮らす中で感じた事を自由に表現できる雑誌の刊行を思い立ち、町内の有志を募ってはこべの会を発足させた。様々な困難を克服して月刊はこべの初版本が発行されたのが昭和52年4月のことであった。

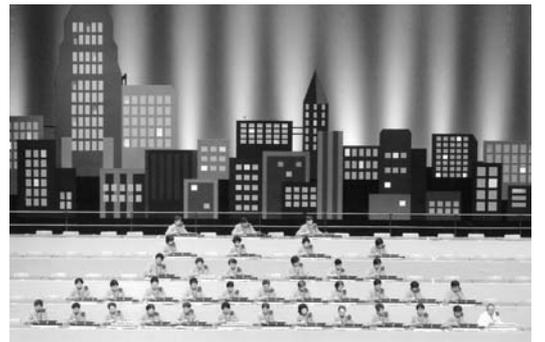
### ひまわり琴クラブ

高本 絹江

今後その姿を変えようともはこべの活動とともに永く語り継がれることであろう。

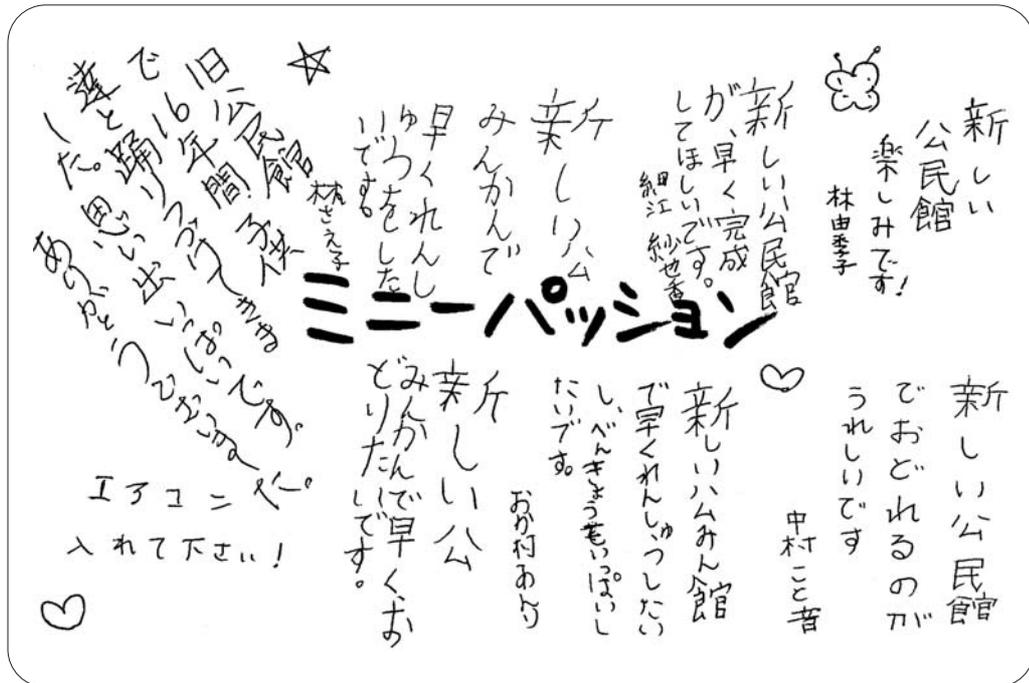
最初の頃は文字どおり手づくりの製本が行われた。月末の製本作業の日には、福祉センター内の図書館に集まり久保田印房で印刷されたものを各頁ごとと並べて、1枚1枚拾い集めてホチキスでとめ、表紙を糊づけして乾かす一連の作業が夜遅くまで続けられた。最後に印刷所へ再度持ち込み裁断機にかけられ1冊の本が完成する。毎月1日発行に間に合わせる為、原稿募集から送られてきた原稿や写真、絵画等を割付けたり、刷り上がったものに目を通す校正も役割分担してすすめられた。その後会員も増え発行部数の増大に伴い印刷製本は印刷所で一貫して行われ、手渡しでしていた配達も郵送、宅配へと移行した。雑誌の発行の他、映画会、劇団公演、音楽鑑

賞、講演会等の文化活動も積極的に展開してきたはこべの会にとつて公民館の施設はなくてはならない重要な存在であった。私達大正琴ひまわり琴クラブは、旧中央公民館に、約14年間程お世話になりました。学習室1の教室をおかりして月2回練習をしました。いまは亡くなられましたが宮下栄先生を講師にお願いし、とても楽しく琴の練習に出来ました。先生も若かったので練習もきびしかったです。生徒も若かったので、ある程度先生の希望通りにひくことが出来全国大会に何回も参加させていただきました。学習室1の教室で練習を重ねて全国大会に行つて琴をひけたことは年齢を重ねた現在でも思い出として強く残り私達琴の仲間達の宝です。10年程前に宮下先生が病気で他界されショックすぎる出来ごとでしたが、現在は琴伝流大正琴の本部の藤沢先生が来て下さり、ひまわり



り琴クラブは続いています。生徒も年齢もいくつが大きくなったので、2階の学習室迄は階段を登つていくのが大変になり今は印刷室をかりることが出来頑張つて練習を重ねています。今は各クラブがいろいろと活躍されていますので、場所取りの当番になった時はなかなか大変です。大正琴ですがいろいろの条件で全国大会には参加せず、地区の発表会では体育館アリーナで発表させていただいたり、南信大会、中川大会等に参加させていただいています。長い年月大正琴を練習して人と人との絆、仲間作りを応援してくれた旧中央公民館ですが、工事中は旧北名子保育園をおかりします。

来年新公民館が完成されました是非一緒に大正琴をひいて心豊かな生活が送れるように、一人でも多くの仲間作りが出来ますようお願いいたします。



44年余り、自分の生活を見つめたり楽しんだり、また、よりよい地域づくりのために、仲間と考え合いそして、取り組んだりする場となった公民館。その果たした役割は大きいです。特に、住民主体の地域づくりの場の一つであったことは誇れることです。ありがとうございます！

自ら農家を営みながら南信州の野菜や果物の魅力を発信している女性のお話しを聴く「男と女いきいき講座」が行われ約40人が参加しました。

講師は、野菜ソムリエコミュニケーション南信州代表の殿倉由起子さんと、殿倉さんと一緒に南信州ベジフルユニットYUI SAIを結成している下井泉さんです。

講座で主にお話しをされた殿倉さんは、5年間のイギリス留学で観光学を学び、東京のホテルに就職しましたが、東京で結婚したご主人と一緒に飯田市へUターン。実家の農園を継いでいます。地元野菜を使ったカフェを開きたいの思いから野菜ソムリエの資格を取得。そして、南信州の野菜や果物と、人・地域を繋ぎたいと、下井さんと

**笑顔と笑顔を  
創造しつなく**

ひとひと  
**男と女いきいき講座**

上片桐改善センター  
7月11日(土)



5種類のスムージーを飲み比べ

この日は、殿倉さんと下井さんが勧める地元産の野菜や果物を使った「チョココベジ」の試食も行われました。野菜や果物にチョコレートを付けて食べたり、多種類の野菜・果物のミックスジュースに高力カオチョコを混ぜるスムージーにしたりと、チョコレートを加えたメニューです。子どもでも食べやすいように工夫された料理で、試食した参加者の皆さんにも大好評でした。

もにベジフルユニットを結成し活動しています。また実家の農園の社長になるという夢もあり、女性目線での農業経営を目指しています。

女性農業者として全国的に活躍される方が飯田市というごく身近にいることは素晴らしいこと、参加した皆さんは殿倉さんの熱い思いを聴き感動していました。



おとつと...

**みんなが  
夢中**

**スポーツフェスティバル**



スラックラインに挑戦

おとつと... (Text from previous block)

今回は初紹介ということで、大鹿村を拠点にスラックラインを広めている多田さん、唐澤さん、宇佐美さんを講師に初歩的な片足立ちで5秒間静止などの簡単な技をやつていただきました。最初はなかなかバランスが取れず、すぐに落ちてしまいましたが慣れてくると結構距離を歩いたりもできるようになりました。参加者の中には今回だけでジャンプが出来るようになるひとまでいました。このスラックライン地味に運動量が大きくて、多田さんによると30分でラン

スポーツフェスティバルが7月17日(金)に町民体育館アリーナで行われました。毎回様々なニユースポーツを紹介しているスポーツフェスティバルですが、今回新たに紹介されたのが「スラックライン」ドイツで2007年にロッククライミングの訓練のため体のバランスを整え、体幹を鍛える目的で作られたそうです。そんなスラックライン、どんなものかという2本の柱の間に張った5cmほどの幅のライン(バンド状の綱)で行う綱渡り。上級者になるとラインの上で縦横無尽に飛び跳ねるそうです。



よーくねらって (シャッフルボード)



判定中! (囲碁ボール)

ニング1時間に相当するそうで、週1回1時間ほどで5kg体重が減った方もいるそうです。また70歳で18mの距離を毎日渡っている方もいるそうで、ひざ痛がなくなり歩きやすくなったそうです。

また他にも囲碁ボールやシャッフルボード、輪投げなどを紹介し、お年寄りから子どもまでみんな夢中で汗をかくことができました。



優勝	中平 建夫
準優勝	中平 和弘
第3位	杉山 茂
第4位	湯沢 正三
第5位	佐藤 清和
第6位	鈴木 孝百
第7位	唐澤 富元
第8位	佐藤 博文
第9位	関 克義
第10位	今野 俊次

7月26日(日)に高森カントリークラブで第8回松川町民ゴルフ大会が開催され、226名の参加がありました。  
結果は次のとおり。

### 第8回 松川町民ゴルフ大会

## 英語で話してみませんか？ 公民館英会話教室受講生募集

町の公民館では、英会話教室を松川中学校ALTのリヴィングッド・アンジェラ先生(アメリカ合衆国出身)を講師に招き、右記のとおり開催します。

お互いの文化を知る良い機会にもなると思います。

初心者の方もそうでない方も『英語に触れる場』として受講してみたいかでしょうか。

開講期間：平成27年9月17日(予定)～平成28年7月頃まで

毎週木曜日 午後7:30～9:00

講師：リヴィングッド・アンジェラ・レニー先生  
対象：町内在住・在勤の方(定員30名)

申込締切：9月10日(木)

受講料：無料

### アンジェラ先生からの一言

Please, join our English Conversation Class!  
We talk about many things such as family, travel, music, current events, and much more. You are also welcome to ask me questions about life in America. So, don't be shy! Come practice your English speaking skills.

Angela



皆さん、私たちの英会話教室に来てみませんか！教室では家族のこと、旅行のこと、音楽のこと、その時々の方々のこと等々、英語で話をしています。アメリカの生活のこと、何でも聞いてみてください。恥ずかしがらないで英語で話してみましよう。

さあ、私たちの教室であなたの英語を実践してみましよう。(受講者訳)

今回は、7月28日、蓮田市と松川町の6年生40人の皆さんと一緒に町内めぐりを行なった様子を紹介いたします。  
最初に訪れたのが大島城です。大人の方に話すのは歴史的な知識があるので比較的話しやすいのですが、6年生は歴史の授業を4月から始めたばかり、現在平安・鎌倉時代あたりを勉強しているそうです。そこで、歴史という観点を主とせず、大島城を広範囲で知ってもらうために、「大島城探検クイズ」と題し、オリエンテーリングを8人1チームとなり行いました。渡されるものは、縄張り図と一問目の問題のみ、後は公園内ものから答えを導き出すしかありません。さすが地元松川町の子どもたち、地図を見たのか、見ないのか、目的地に班の皆を連れて行き、そこで仲間同士協力し合い考えていました。例えば本丸の指定された場所に行き、①「ここは本丸に入るための出入り口です。何の跡が確認されていますか？」この場所は何といえますか？②「猿ヶ鼻神社まで移動し、③「この神社のすぐ近くにある碑は何年に誰の進攻に落城した大島城の人々のために建て



指定の時間までに猛暑の中、汗をびっしょりかきながら笑顔で集合場所に戻る子どもたち。ほんの30分前まで全然知らなかった子ども同士があつという間に友達となり、「楽しかったよ」「ここが解らなかつた」など、郷土の宝である大島城を舞台にして友達と過ごした時間、夏休みの良き思い出になつてくれたのではないのでしょうか。



慰霊碑の裏に答えがあります

られたのですか？」といったように、その場所に行くから分かるようにクイズを出しました。ちなみに①の答えは「木戸跡」・「本丸虎口」②は「天正十年」・「織田氏」です。ヒントはあくまでも公園内の説明板・碑・渡された縄張り図のみ。ぐるぐると周辺を見ながら「あつた」「これじゃない？」と話しながら一つ一つ問題を解いていきました。





### 大会にむけて奮闘中

南信州まつかわハーフマラソン大会事務局 唐澤 琴美さん



南信州まつかわハーフマラソン大会事務局で、実行委員長 唐澤さん、福島主事のもと事務及び問い合わせに対応さ

れている唐澤琴美さん。開催まであと2か月ほどと迫った現状をお聞きしたところ「昨年まで南信州アルプスまつかわロードレース大会として開催されていましたが今年からハーフマラソンに変更ということで、コース変更などの申請が大変、他にもいろいろと頑張らないと」とのことでした。取材に伺った7月末時点で

### すぽと

### あいさつ運動+ゴミ拾い

上大島地区公民館 松下真司

上大島地区公民館では、本年度新たにあいさつ運動と一緒に通学路のゴミ拾いを行うことにしました。なぜ？あいさつ運動とゴミ拾いを一緒に行うの？と思いますよね普通は！上大島地区公民館では例年5月の末にゴミゼロ運動を行なっていました。が回覧をまわし地域の皆様に参加の呼び掛けをしても一般の参加者がほとんどいない状況だった為、中止しました。しかし通学路

民の声から「ゴミがだいぶ落ちていいる」という言葉があり公民館部員も出勤前で大変だ。けど地域の為・子どもたちの為にも頑張ろうとゴミを拾う事にしました。一回目は7月の雨の降る中行い思いましたが思ったよりだいぶゴミは少なくなりました。しかし、歩道以外の雑草の中にはたくさんゴミが隠れているのかな？と思いました。次回のあいさつ運動+ゴミ拾いは10月19日の月曜日に行



あいさつをしながらゴミ拾い

ないますので興味がある区民の皆様はぜひ公民館部員と一緒に子どもたちにあいさつをしながらかみ通学路のゴミを拾ってみませんか？ 午前7時に東浦信号交差点 精米所前に集合です。お待ちしております。

### ほくの家族

中央小4年

大島 聡起

ほくの家族はいつも楽しい

お母さんは仕事で帰る時間がおそい

お父さんはいつも畑で仕事をしている

おじいちゃんはおきゅうりをさえるひもを切ってる

お姉ちゃんはお休みのときお兄ちゃんはお休みのときお兄ちゃんはお休みのときお兄ちゃんはお休みのとき

お兄ちゃんはお休みのときお兄ちゃんはお休みのときお兄ちゃんはお休みのとき

### 俳句

米山 護 (中央一)

たんぼの祭

テリトリ越えてゆく

ワイパーで花びらはらひ発進す

夏の飛騨スケッチの辺に

兜太句碑

ゴッホの絵見て炎天の道を行く

夏瘦や円空仏の棒立ちす

天竜を足下におき袋掛

### 雑詠

米山恵美子 (大栢南)

夫逝きて三年過ぎし七月の激しく打てる雨音沁むる

亡き夫を心の中に住まはせて紫陽忌と呼ぶ命日の今日

死してより三年間をわが許に遺骨置ききて今日納骨す

あぢさゐの花毬あまた雨含み藍零しをり文月の庭に

仲の好き従兄が夫に会ひに来つ命日の頃は思ひ出すとて



# 今月の公民館

サッシが取り外され、解体が始まっています。



## 声 フェスタ ぎおん

7/4(土)に  
あいにくの雨の中  
開催されました



## あらいの 祇園祭

7/18(土)に  
開催されました



◎◎◎◎◎

公民館報  
「まつかわ」  
第 622 号  
平成27年 8月15日  
発行所 松川町公民館  
責任者 矢澤 登  
編集人 公民館編集部  
Tel 36-2633  
e-mail: c.kouminkan@matsukawa-town.jp  
飯田市上郷黒田121  
印刷所 龍共印刷(株)  
再生紙を使用しています。

セミの抜け殻や、サワガニ、カブトムシと夏は子どもにとって宝の山だ。我が家の場合、大人も例外ではなく、サワガニが米粒をハサミで上手に食べる姿をこよなく愛する妻は、夫の朝食の準備より、サワガニのために、近くの川にコケを取りに行く熱の入れようだ。夏は、サワガニに嫉妬する時期でもある。

そんな妻の影響もあり、二人の子ども達も、カブトムシが大好きだ。連日の猛暑で大切にしていたカブトムシが亡くなり、土に埋めてお墓を造るようになった。スコップで穴を掘り、埋め終わるといつもは、少し破天荒な長女が、手作りのお墓に向かって自然と手を合わせていた。それを見て、長男も。教えたわけでもなく、自然と一つの命に向き合う子どもの優しさを見ることができた。

長女の破天荒ぶりに夫婦で頭を悩まされることも多々あるが、今回の事で一喜一憂することなく、自分自身で学び感じながら成長している子どもたちに合わせて、大人の自分自身も共に成長していけたらと思う。

そして来年の夏は、サワガニに嫉妬しない一回り成長した自分でありたいと思う。

(大東洋文)